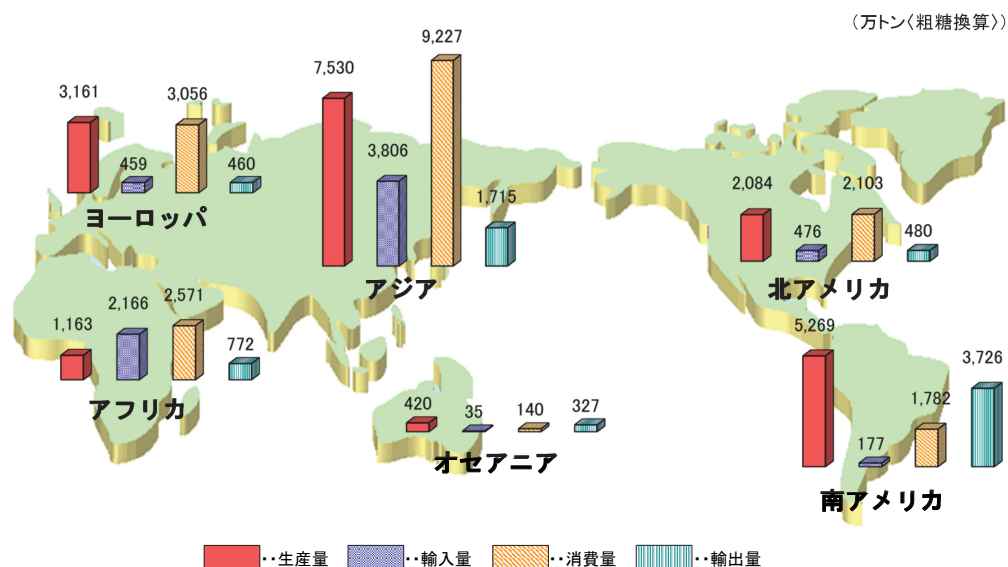




### 1 世界の砂糖需給（2026年6月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2025/26年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, June 2026」を基に農畜産業振興機構作成

注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。

注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：万トン〈粗糖換算〉、%)

| 年度                     | 期首在庫量 | 生産量    | 輸入量   | 消費量    | 輸出量   | 期末在庫量 | 期末在庫率 |
|------------------------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 1995/96                | 5,221 | 12,220 | 3,403 | 11,628 | 3,691 | 5,526 | 47.5  |
| 2000/01                | 7,099 | 13,143 | 3,845 | 13,089 | 4,148 | 6,850 | 52.3  |
| 2005/06                | 6,599 | 15,129 | 4,763 | 15,015 | 5,042 | 6,434 | 42.9  |
| 2010/11                | 6,056 | 16,721 | 5,441 | 16,544 | 5,868 | 5,808 | 35.1  |
| 2015/16                | 8,241 | 17,519 | 6,902 | 17,931 | 6,936 | 7,795 | 43.5  |
| 2020/21                | 8,914 | 18,204 | 6,749 | 18,604 | 6,814 | 8,449 | 45.4  |
| 2021/22                | 8,449 | 18,639 | 7,004 | 18,927 | 7,123 | 8,043 | 42.5  |
| 2022/23                | 8,043 | 19,070 | 7,151 | 19,100 | 7,161 | 8,002 | 41.9  |
| 2023/24                | 8,002 | 19,566 | 7,662 | 19,049 | 7,700 | 8,480 | 44.5  |
| 2024/25                | 8,480 | 18,942 | 7,303 | 19,004 | 7,385 | 8,336 | 43.9  |
| 2025/26<br>(2026年6月予測) | 8,336 | 19,627 | 7,119 | 18,879 | 7,480 | 8,723 | 46.2  |

資料：GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, June 2026」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

注2：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2026年10月号の掲載となります。直近の内容は2026年7月号をご参照ください。

「世界の砂糖需給」：[https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07\\_003564.html](https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003564.html)

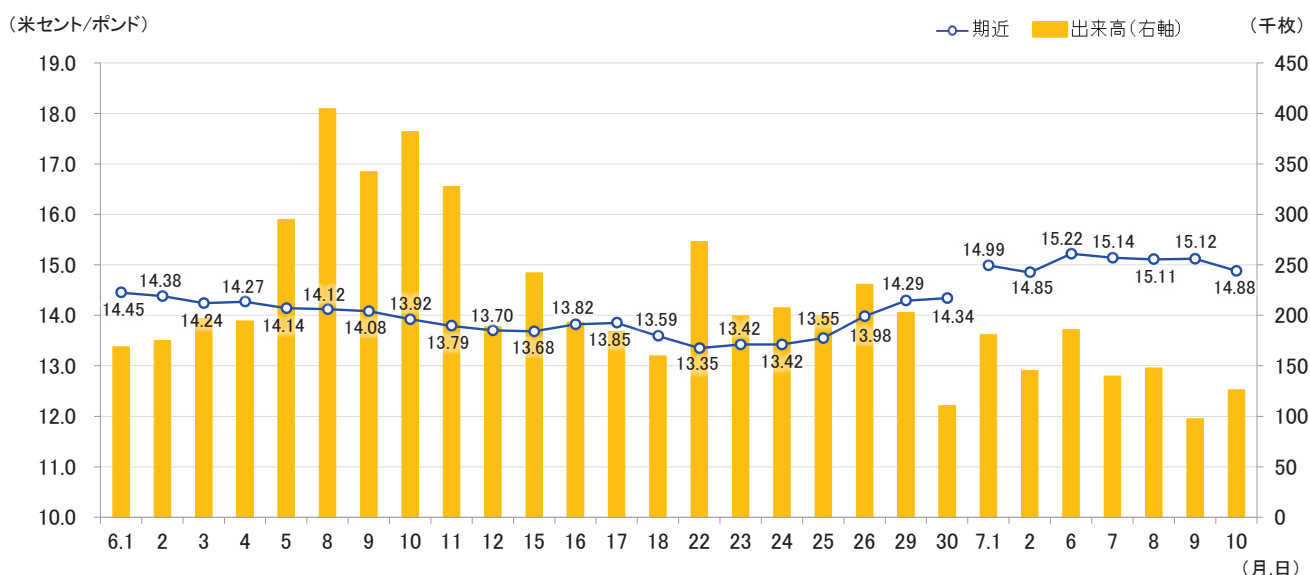
「主要国の砂糖需給」：[https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07\\_003565.html](https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003565.html)

## 2 国際価格の動向

### ニューヨーク粗糖先物相場の動き（6/1～7/10）

～6月はインドのサトウキビ減産への懸念が相場を圧迫～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所

注：6月は期近7月限の値、7月は10月限の値。

2026年6月のニューヨーク粗糖先物相場（7月限）の推移を見ると、1日はインドのサトウキビ不作見通しにより、1ポンド当たり14.45セント（注1）と前取引日から上昇した。2日以降は原油安（注2）やリアル安（注3）などにより下落傾向となり、15日は同13.68セントをつけた。16日以降はインドの降雨量不足によるサトウキビ減産への懸念から上昇に転じ、17日は同13.85セントとなった。18日以降は原油安とドル高により再び下落したものの、25日以降はインドの減産懸念から上昇傾向となり、30日は同14.34セントで納会した。

7月に入り10月限に切り替わると、1日はインドの減産懸念が続き、同14.99セントをつけた。2日以降はリアル高と原油安により上下し、10日は原油安により同14.88セントと下落した。

（注1）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注2）一般に、原油価格が下落すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も減少する。バイオエタノールの需要減少により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが減る一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が増えると想定される。食品用途仕向けの度合いが大きくなるほど需給が緩和し、当該食品の価格を押し下げる方向に作用する。

（注3）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してリアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

### 3 世界の砂糖需給に影響を及ぼす各国の動向（2026年7月時点予測）

以下、特段の断りがない限り GlobalData UK Ltd. による予測に基づく記述であり、砂糖に関する数量は粗糖換算である。

1 トン当たりの輸出価格はFOB価格（Free on Board：貨物が輸出国の船上に置かれた時点までの費用を含めた価格）であり、1 トン当たりの輸入価格はCIF価格（Cost Insurance and Freight：保険料・運賃込みの価格。関税額等は含まれていない）である。

#### ブラジル

##### 2026/27年度（4月～翌3月）の見通し

###### 【サトウキビ】

収穫面積：915万ha（前年度比0.7%増）  
生産量：6億9970万トン（同4.9%増）

###### 【砂糖（甘しゃ糖）】

生産量：4630万トン（同1.0%減）  
輸出量：3562万トン（同2.5%減）

#### 26/27年度の砂糖輸出量はわずかな減少見込み

2026/27年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、915万ヘクタール（前年度比0.7%増）と前年度からわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、降雨による収穫遅延が発生しているものの、単収の増加が予測されることから、6億9970万トン（同4.9%増）とやや増加すると見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビ増産が予測されるものの、砂糖仕向け割合は前年度を下回って推移してい

ることから、4630万トン（同1.0%減）とわずかな減少が見込まれている。なお、エタノール仕向け割合は前年度を上回って推移している。砂糖輸出量は、3562万トン（同2.5%減）とわずかな減少が見込まれているが、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が見込まれている。現地報道によると、同国のエネルギー政策諮問委員会（CNPE）は、7月14日にガソリンへのエタノール混合率を30%から32%へ引き上げることを承認したとしている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：万ha、万トン、%）

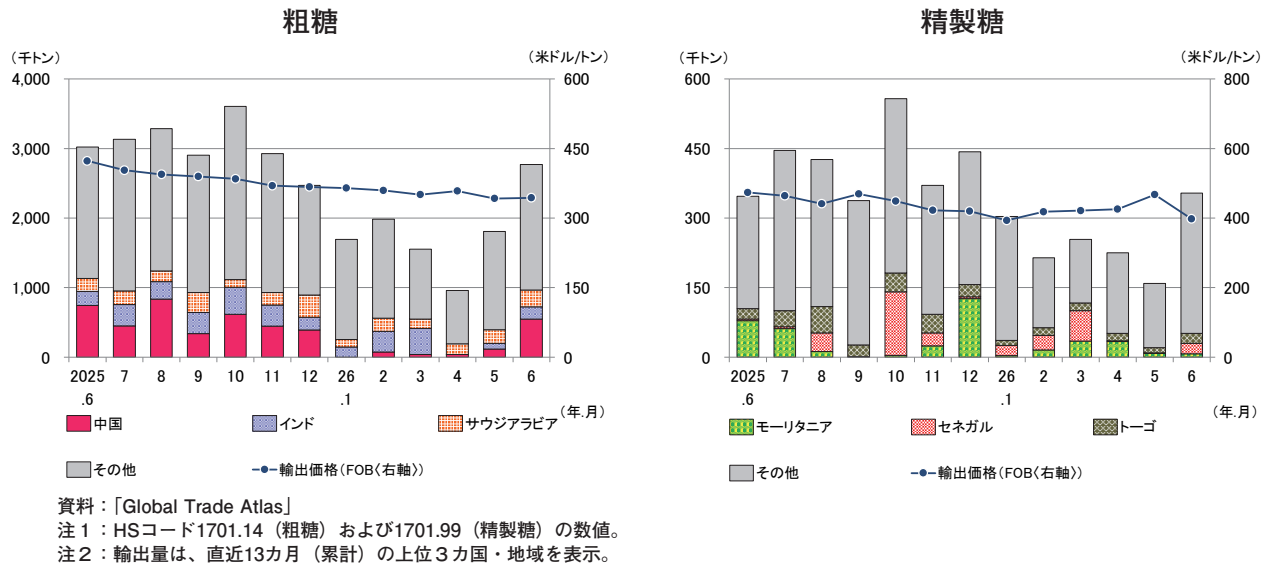
| 年度        |       | 2023/24 | 24/25  | 25/26  | 26/27<br>（6月予測） | 26/27<br>（7月予測） | 前年度比<br>（増減率） |
|-----------|-------|---------|--------|--------|-----------------|-----------------|---------------|
| サトウキビ収穫面積 |       | 841     | 884    | 908    | 918             | 915             | 0.7           |
| サトウキビ生産量  |       | 71,313  | 67,868 | 66,675 | 69,970          | 69,970          | 4.9           |
| 砂糖        | 生産量   | 4,932   | 4,719  | 4,675  | 4,630           | 4,630           | ▲ 1.0         |
|           | 輸入量   | 0.5     | 0.4    | 0.3    | 0.4             | 0.4             | 23.6          |
|           | 消費量   | 1,097   | 1,075  | 1,068  | 1,055           | 1,068           | 0.0           |
|           | 輸出量   | 3,739   | 3,618  | 3,652  | 3,575           | 3,562           | ▲ 2.5         |
|           | 期末在庫量 | 320     | 347    | 302    | 316             | 303             | 0.1           |
|           | 期末在庫率 | 6.6     | 7.4    | 6.4    | 6.8             | 6.5             | 0.1ポイント増      |

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, July 2026」

注1：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



## インド

### 2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

#### 【サトウキビ】

収穫面積: 575万ha (前年度比0.9%増)

生産量: 4億7377万トン (同6.1%増)

#### 【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量: 3008万トン (同7.6%増)

輸出量: 369万トン (同9.2%減)

### 25/26年度の砂糖輸出量はかなりの程度減少見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、575万ヘクタール（前年度比0.9%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、1）25年のモンスーンが収量向上に寄与したこと、2）マハラシュトラ州など一部地域で発生した洪水の影響が長期的ではないことと推測されるため、4億7377万トン（同6.1%増）とかなりの程度増加すると見込まれている。

砂糖生産量は、主要生産州であるマハラシュトラ州、ウッタル・プラデーシュ州およびカルナータカ州でのサトウキビ増産と歩留まり（糖回収率）の上昇により、3008万トン（同7.6%増）とかなりの程度の増加が見込まれている。一方、砂糖輸出量は、

同国政府が砂糖輸出の原則禁止を公表したことなどから369万トン（同9.2%減）とかなりの程度の減少が見込まれている。2026年5月13日に公表された情報によれば、同国政府は、今回の砂糖輸出政策の変更により、これまで輸出を制限していた砂糖（ITCコード〈HSコード〉1701.14-90および1701.99-90に該当する砂糖）の輸出を直ちに禁止した。なお、この変更の適用期間は26年9月30日まで、または別途通知があるまでのいずれか早い時期までとなる。ただし、この禁止措置は、1）EU向けの割当枠（CXL）および関税割当（TRQ）の割当枠に基づくEUおよび米国向け、2）事前認可制度（AAS）、3）国家貿易、4）すでに物理的な輸出プロセスが進行中の貨物—の条件の下で輸出される砂糖には適用されないとしている。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

| 年度        | 2022/23 | 23/24  | 24/25  | 25/26<br>(6月予測) | 25/26<br>(7月予測) | 前年度比<br>(増減率) |
|-----------|---------|--------|--------|-----------------|-----------------|---------------|
| サトウキビ収穫面積 | 598     | 589    | 570    | 526             | 575             | 0.9           |
| サトウキビ生産量  | 50,411  | 48,656 | 44,671 | 40,938          | 47,377          | 6.1           |
| 砂糖        | 生産量     | 3,539  | 3,446  | 2,797           | 3,019           | 7.6           |
|           | 輸入量     | 169    | 313    | 280             | 318             | 9.6           |
|           | 消費量     | 3,008  | 3,099  | 3,002           | 3,035           | 0.7           |
|           | 輸出量     | 865    | 438    | 407             | 380             | ▲ 9.2         |
|           | 期末在庫量   | 629    | 851    | 519             | 441             | ▲ 15.0        |
|           | 期末在庫率   | 16.2   | 24.1   | 15.2            | 12.9            | 2.2ポイント減      |

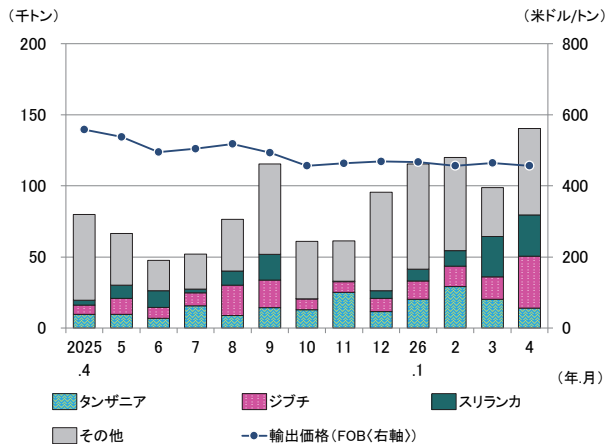
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, July 2026」

注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移

粗糖

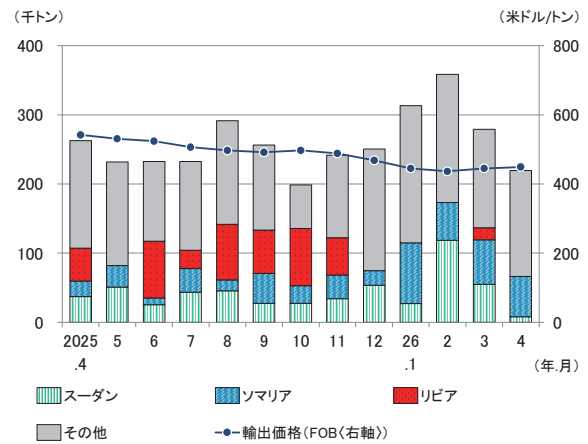


資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。

精製糖



## 中国

## 2025/26年度(10月～翌9月)の見通し

## 【サトウキビ】

収穫面積：121万ha(前年度比1.3%増)

生産量：9039万トン(同22.9%増)

## 【てん菜】

収穫面積：23万ha(同7.8%増)

生産量：1266万トン(同5.9%減)

## 【砂糖(甘しゅ糖およびてん菜糖)】

生産量：1396万トン(同15.6%増)

輸入量：503万トン(同22.3%減)

## 25/26年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2025/26年度(10月～翌9月)のサトウキビ収穫面積は、果実など競合作物より収益性が高いことから生産者が作付けを増加させたことで、121万ヘクタール(前年度比1.3%増)とわずかな増加が見

込まれている(表)。サトウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区や雲南省では収穫開始が遅れたが、生育が良好であったため、9039万トン(同22.9%増)と大幅な増加が見込まれている。25/26年度の製糖シーズンは、6月末まで作業を

延長していた雲南省を最後に終了した。

てん菜収穫面積は、トウモロコシや大豆などの競合作物の需要低下で生産者がてん菜の作付けを増加させたことから、23万ヘクタール（同7.8%増）とかなりの程度増加が見込まれている。一方、てん菜生産量は、単収の減少により1266万トン（同5.9%減）とやや減少すると見込まれている。また、米国農務省の報告によれば、主要生産地における豪雨や乾燥した気候がてん菜の生育に影響を及ぼし、

糖度の低下を招いたとしている。

砂糖生産量は、てん菜の減産以上にサトウキビの増産が見込まれているため、1396万トン（同15.6%増）とかなり大きな増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入が予想されるが、国内生産の増加見通しから、503万トン（同22.3%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

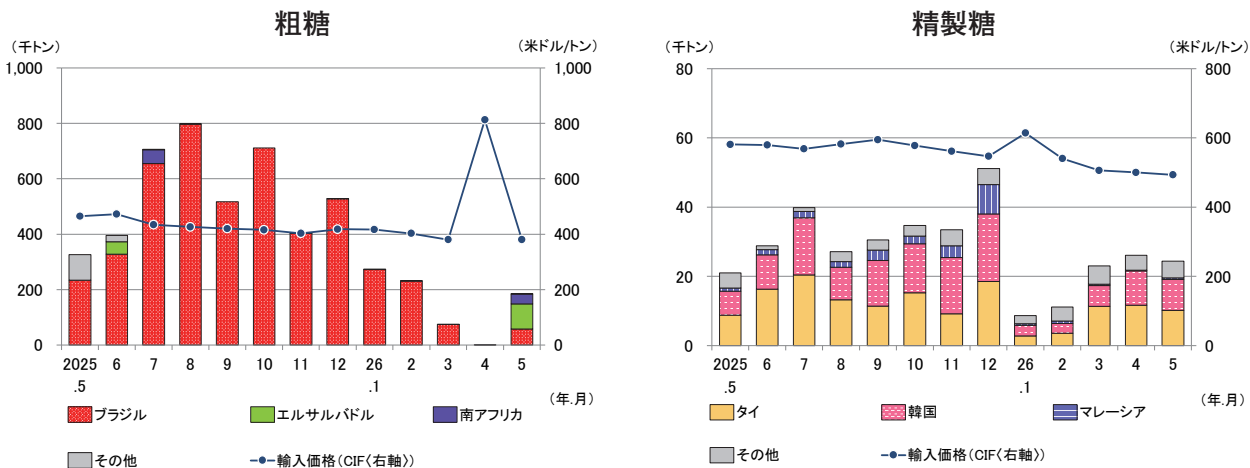
| 年度        | 2022/23 | 23/24 | 24/25 | 25/26<br>(6月予測) | 25/26<br>(7月予測) | 前年度比<br>(増減率) |
|-----------|---------|-------|-------|-----------------|-----------------|---------------|
| サトウキビ収穫面積 | 110     | 110   | 119   | 121             | 121             | 1.3           |
| サトウキビ生産量  | 6,260   | 7,313 | 7,354 | 9,029           | 9,039           | 22.9          |
| てん菜収穫面積   | 18      | 17    | 22    | 23              | 23              | 7.8           |
| てん菜生産量    | 872     | 938   | 1,346 | 1,266           | 1,266           | ▲ 5.9         |
| 砂糖        | 生産量     | 970   | 1,077 | 1,393           | 1,396           | 15.6          |
|           | 輸入量     | 585   | 740   | 647             | 503             | ▲ 22.3        |
|           | 消費量     | 1,658 | 1,674 | 1,692           | 1,696           | 0.2           |
|           | 輸出量     | 20    | 18    | 17              | 15              | ▲ 18.6        |
|           | 期末在庫量   | 1,419 | 1,545 | 1,689           | 1,858           | 11.2          |
|           | 期末在庫率   | 84.6  | 91.3  | 98.8            | 108.6           | 110.9ポイント増    |

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, July 2026」

注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：26年4月の粗糖輸入量は、千トン未満。

## E U

### 2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

#### 【てん菜】

収穫面積：140万ha（前年度比10.7%減）

生産量：1億1151万トン（同4.3%減）

#### 【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1743万トン（同1.5%増）

輸入量：172万トン（同14.3%増）

### 25/26年度の砂糖期末在庫量は大幅な増加見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心に主要生産国での減少が見込まれることから、140万ヘクタール（前年度比10.7%減）とかなりの程度の減少が見込まれている（表）。てん菜生産量は、フランスやドイツで単収の増加が見込まれているものの、作付面積の減少により、1億1151万トン（同4.3%減）とやや減少すると見込まれている。また、EUおよび英国における26/27年

度のてん菜の作付けは、作業がほぼ完了したとされる中、現在の高温かつ乾燥した気候により、収量低下や病害虫発生の懸念が高まっている。

砂糖生産量は、24/25年度と比較しててん菜の糖度が上昇したことで、1743万トン（同1.5%増）とわずかな増加が見込まれている。砂糖輸入量は、172万トン（同14.3%増）とかなり大きな増加が見込まれている中、消費量は前年度並みが見込まれている。この結果、期末在庫は、289万トン（同33.1%増）と大幅な増加が見込まれている。

表 EUの砂糖需給の推移

（単位：万ha、万トン、%）

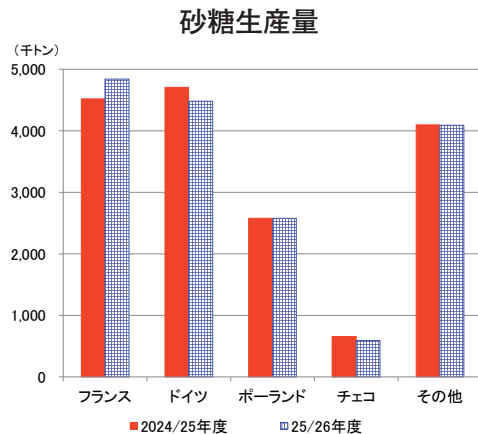
| 年度      | 2022/23 | 23/24  | 24/25  | 25/26<br>（6月予測） | 25/26<br>（7月予測） | 前年度比<br>（増減率） |
|---------|---------|--------|--------|-----------------|-----------------|---------------|
| てん菜収穫面積 | 140     | 145    | 157    | 140             | 140             | ▲ 10.7        |
| てん菜生産量  | 9,976   | 10,990 | 11,650 | 11,375          | 11,151          | ▲ 4.3         |
| 砂糖      | 生産量     | 1,548  | 1,626  | 1,717           | 1,738           | 1.5           |
|         | 輸入量     | 329    | 220    | 150             | 164             | 14.3          |
|         | 消費量     | 1,727  | 1,633  | 1,637           | 1,637           | 0.0           |
|         | 輸出量     | 90     | 209    | 209             | 205             | ▲ 1.5         |
|         | 期末在庫量   | 191    | 196    | 217             | 277             | 33.1          |
|         | 期末在庫率   | 10.5   | 10.6   | 11.7            | 15.0            | 3.9ポイント増      |

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, July 2026」

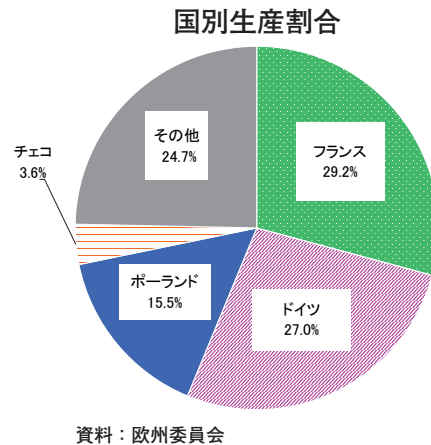
注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し (2025/26年度) (2026年6月時点)



資料：欧州委員会  
注1：精製糖換算。  
注2：数値は予測値。



資料：欧州委員会

## 4 日本の主要輸入先の動向 (2026年7月時点予測)

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しや糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2025年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.7%（前年比0.5ポイント増）、タイが9.3%（同0.4ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

### 豪 州

#### 2026/27年度（4月～翌3月）の見通し

##### 【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比0.3%増）

生産量：3000万トン（同3.9%増）

##### 【砂糖（甘しや糖）】

生産量：406万トン（同3.7%増）

輸出量：309万トン（同3.2%増）

#### 26/27年度の砂糖輸出量はやや増加見込み

2026/27年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比0.3%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、3000万トン（同3.9%増）とやや増加すると見込まれている。26年6月に発生した製糖企業に対するサイバー攻撃は、作業停止などの一時的な影響を及ぼしたものの、米国農務省の報告によれば、25/26年度の収穫が遅延することなく完了し、26/27年度は十分な生育期間を確保できる点が生

産量の増加見込みに寄与している。

砂糖生産量は、サトウキビ増産により、406万トン（同3.7%増）とやや増加すると見込まれているが、ディーゼル燃料（軽油）価格の高騰がサトウキビの収穫や製糖工場への搬入にかかるコストを増加させるとの指摘もある。砂糖輸出量は、砂糖の増産に加え、アジア地域を中心に引き続き堅調な需要が見込まれることから、309万トン（同3.2%増）とやや増加すると見込まれている。

表 豪州の砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

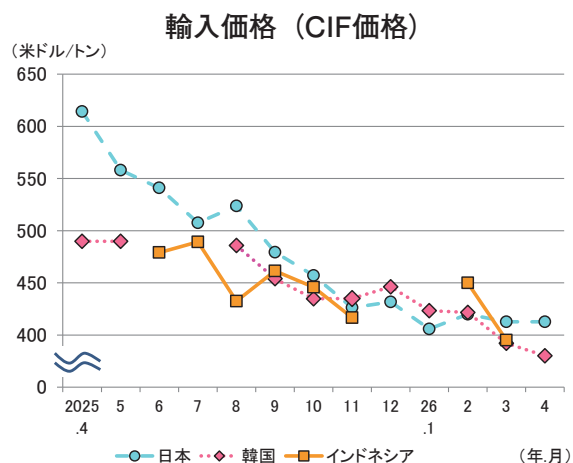
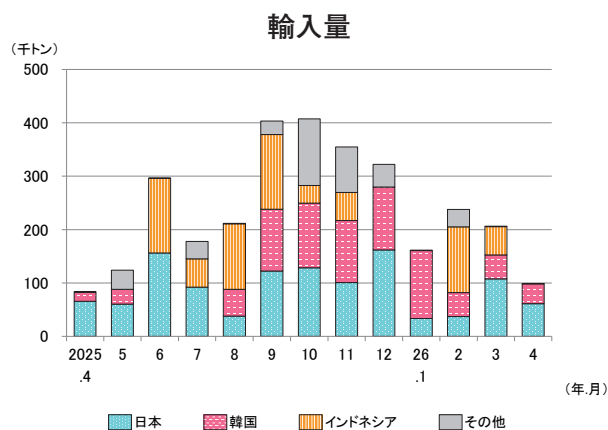
| 年度        | 2023/24 | 24/25 | 25/26 | 26/27<br>(6月予測) | 26/27<br>(7月予測) | 前年度比<br>(増減率) |
|-----------|---------|-------|-------|-----------------|-----------------|---------------|
| サトウキビ収穫面積 | 34      | 32    | 34    | 33              | 35              | 0.3           |
| サトウキビ生産量  | 2,986   | 2,880 | 2,887 | 3,000           | 3,000           | 3.9           |
| 砂糖        | 生産量     | 413   | 391   | 406             | 406             | 3.7           |
|           | 輸入量     | 1.0   | 1.4   | 1.0             | 1.0             | 69.9          |
|           | 消費量     | 97    | 98    | 98              | 98              | 0.5           |
|           | 輸出量     | 370   | 290   | 299             | 309             | 3.2           |
|           | 期末在庫量   | 45    | 50    | 45              | 45              | 0.1           |
|           | 期末在庫率   | 9.6   | 12.8  | 11.3            | 11.0            | 0.3ポイント減      |

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, July 2026」

注1：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖(粗糖)の輸入量および輸入価格の推移



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, July 2026」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)の数値。

注2：直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：韓国の25年6月、7月の輸入量は実績なし。

注5：インドネシアの25年4月、5月、12月、26年1月、4月の輸入量は実績なし。

## タイ

### 2025/26年度(10月～翌9月)の見通し

#### 【サトウキビ】

収穫面積：157万ha(前年度比2.2%増)

生産量：1億586万トン(同15.0%増)

#### 【砂糖(甘しや糖)】

生産量：1265万トン(同19.6%増)

輸出量：846万トン(同24.4%増)

### 25/26年度の砂糖輸出量は大幅な増加見込み

2025/26年度(10月～翌9月)のサトウキビ収穫面積は、157万ヘクタール(前年度比2.2%増)とわずかな増加が見込まれている(表)。サトウキビ生産量は、収穫前の乾燥した天候が収量に有利に

働くことで、1億586万トン(同15.0%増)とかなり大きな増加が見込まれている。26/27年度のサトウキビ生産に向けては、26年1月以降の累積降水量の少なさやサトウキビの競合作物であるキャッサバの価格上昇による影響が懸念されている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産とCCS<sup>(注)</sup>の上昇により、1265万トン（同19.6%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の増産を背景に846万トン（同24.4%増）と大幅な増加が見込まれている。

(注) Commercial Cane Sugar（可製糖率）の略。サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

| 年度        |       | 2022/23 | 23/24 | 24/25 | 25/26<br>(6月予測) | 25/26<br>(7月予測) | 前年度比<br>(増減率) |
|-----------|-------|---------|-------|-------|-----------------|-----------------|---------------|
| サトウキビ収穫面積 |       | 151     | 148   | 154   | 157             | 157             | 2.2           |
| サトウキビ生産量  |       | 9,389   | 8,217 | 9,204 | 10,586          | 10,586          | 15.0          |
| 砂糖        | 生産量   | 1,169   | 932   | 1,058 | 1,265           | 1,265           | 19.6          |
|           | 輸入量   | 28      | 25    | 36    | 3               | 3               | ▲ 91.6        |
|           | 消費量   | 335     | 329   | 333   | 335             | 335             | 0.6           |
|           | 輸出量   | 800     | 589   | 680   | 846             | 846             | 24.4          |
|           | 期末在庫量 | 256     | 295   | 375   | 463             | 463             | 23.3          |
|           | 期末在庫率 | 22.6    | 32.1  | 37.1  | 39.2            | 39.2            | 2.1ポイント増      |

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, July 2026」

注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

